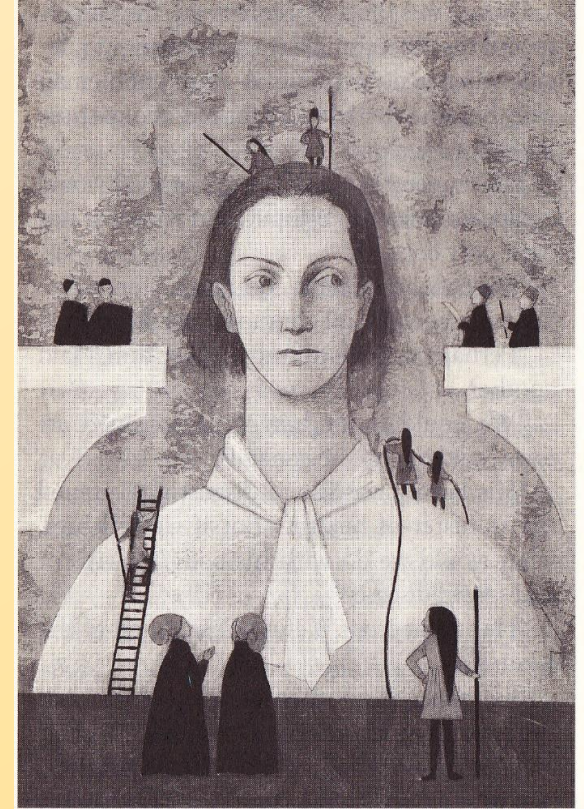


# 英米文学③

## 文学の真正性と 「実践的コミュニケーション」

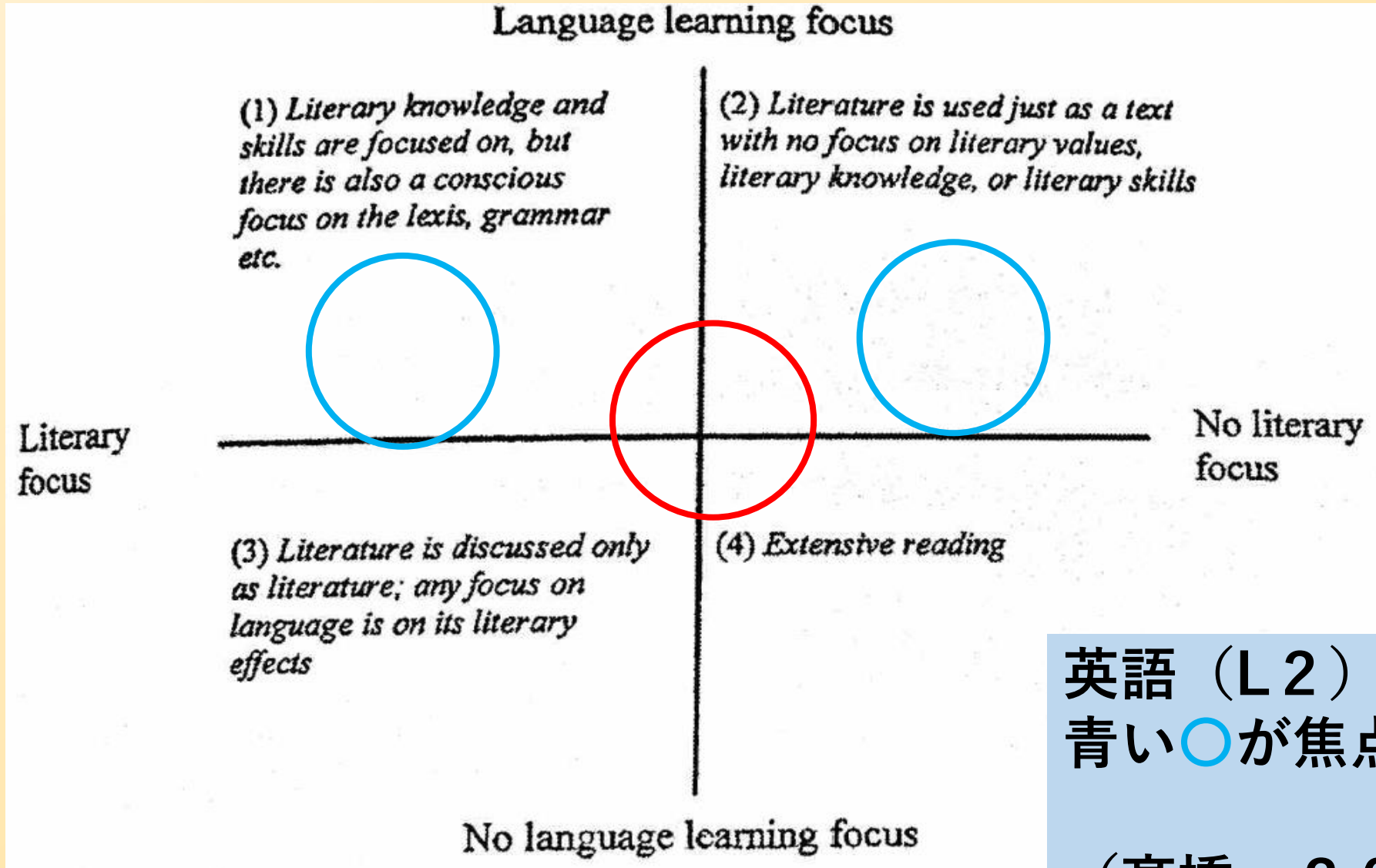


Osaka Kyoiku University

Kazuko Kashiwagi, Ph.D.

# リテラシー（読み書き） ⇔ 文学 Paron (2008)

英語学習に焦点を



読み書き知識  
スキル 語彙・  
文法に焦点

読み書きの価値  
や知識は考えな  
い

英語（L2）の場合は、  
青い○が焦点となる

（高橋、2015）

文学そのもの  
英語学習は考えない

実践的コミュニケーション

VS.

実用的コミュニケーション

実践的と実用的では、異なる。

実践的コミュニケーション

英語の音声や文字を使って現実の場面で、実際に  
コミュニケーションを図ることができる能力。

実用的コミュニケーション

实用？ 電話や買い物、e-mail 道案内 パスポートQ&A  
新聞記事 科学英語

1) 文学には、心から出るようなAuthenticな「生の言葉」がある。  
学習の初期から、本物の言葉に触れる機会を持つ。

問題点： 初級では、語彙や文法を習っていない。

○話のプロットや、メッセージは下げずに、学習者に合った言葉にRetoldする（再話）

○良い文学からは、生きた連語（チャンク）や語彙が学べる。

プレ活動では、その文学に使われる語彙や文構造を聞いたことがあるようにしておく。

○良い文学からは、Genuine Language Activitiesが展開できる。  
（真実の、本物の、言語活動）

本物のTrue or False・物語のクライマックスを創作

例 1 London Eye is older than Big Ben. ( ○ × )

迷いなく答えられる。  
考える必要がない。  
文章をもう一度読む必要がない。  
○か×か迷ったり、理由を考えたりしない。  
おもしろくない。

例 2 People in Liliput like Gulliver. ( ○ × )

ガリバーに食べ物やるな・・・と  
言ってるで。

They  
said・・・って確  
かじゃないので  
は？

良い  
ジャイアント  
やて言ってる。

迷いがでる。考える必要がある。  
文章をもう一度読む必要がでる。  
○か×か迷い、話し合い、理由を考える。  
文法も大切になる。 *They said I was a good giant.*  
*They said I was going to help~~*  
*One of Liliputian said~*  
読みが深まる。

# 実際の場面で実践的に・・・Gulliverでは？

相手に頼む      相手に信用してもらおう      断る      質問する

約束する      相槌をうつ      良い人だと思ってもらおう

聞き流す      けんかせずに逃げる

必然性と因果関係の中で、言葉がはたらく

# Creativity と Narrativity

## 創造的である

各文化の中でそれまで継承されてきた、有形・無形の事物を学んで、新たに何かを創造すること

言葉遊び、ユーモア 相互交流

## 語り口調である

人間は大切な経験とをし、強い印象を受けた際に、それをナラティブの形式で具現化する傾向がある。 因果的連鎖（シークエンス）と特別な出来事、関係づけるはたらき（河合、2003）がそこにある。

過去と結ぶ 他者と結ぶ 自分の無意識に気づく

それが、情念の受け手に影響を与えるということである。

2) 日本の中高の教科書から、文学が敬遠されつつある状況はなぜ生まれているのか。（日本だけ、減少傾向？）

○実用的と実践的の違いの解釈がなされていない。文学には実践的コミュニケーションが多く含まれている。

○イギリスにおいては、母語としての英語では、文学をふんだんに使う。外国語としての仏語では、初級者にはどうしても文学を敬遠？

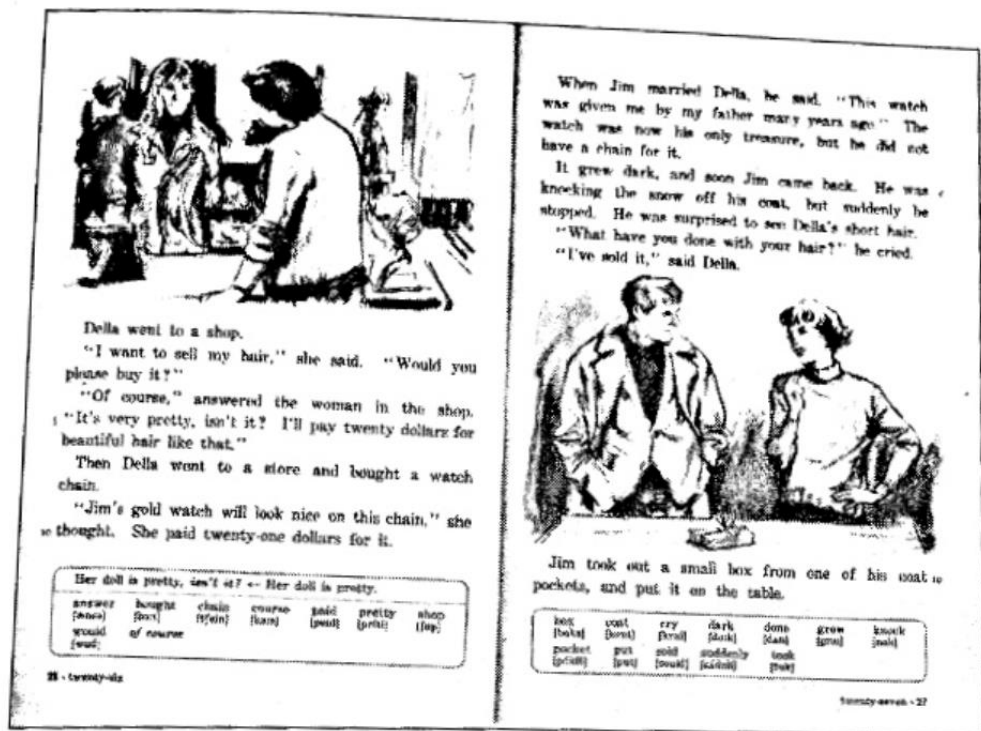
○アメリカでは、母語としての英語では、中級で扱っていた。近年に復活してきた。テロ以降、複眼的なものの見方や批判的な考え方が、文学をとおして学べるとされた。

○アジア（韓国・台湾を例に）では、物語や劇台本、スキットを演じる。（韓国は教育大学に演劇科目があり奨励）。インプットに浸ることを重要視（SLAをよく研究）。Retold内容については、筋を追う、英語スキル重視の傾向がある。また、中国・韓国は、自国の言い伝えや物語を英語でRetoldし、教科書に豊富に掲載している。



日本

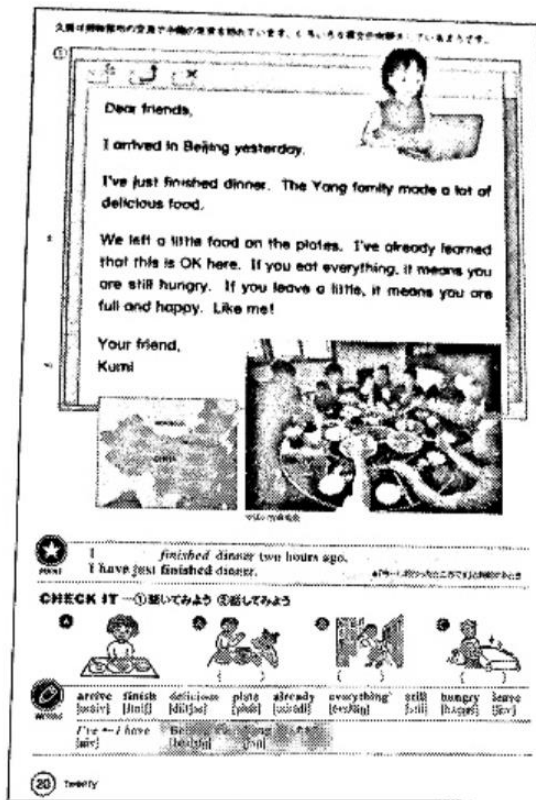
左側 (過去の教科書)



出典: (中村, 若林, 他, 1978: 26-27; 原典 1 色刷)

図 1.2 The New Crown Series 3, Lesson 4  
オー・ヘンリーの作品を用いた教材

右側 (近年の教科書)



出典: (高橋, 他, 2006: 20; 原典カラー印刷)

図 1.3 New Crown English Series 3, Lesson 3  
e-mail を用いた教材

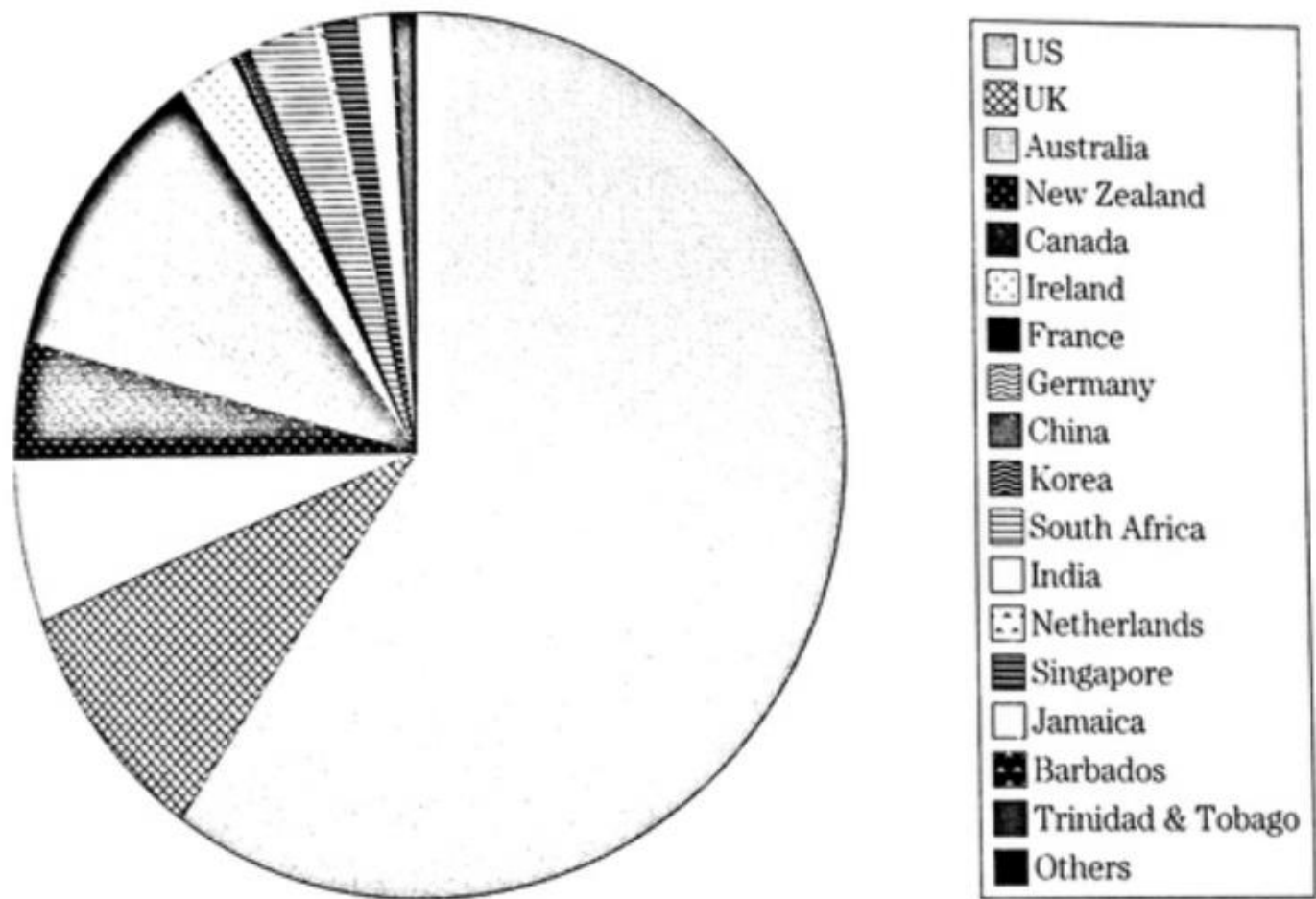
### 3) 英米文学が良いのか 英語をつかう様々な国の文学を加えるか。

日本の学校には、現代では様々な国から来ている。複合的なものの見方や豊かな文学をシェアできる機会である。

例) フィンランドの小学校に通う日本の子供の場合  
日本の行事や、絵本に皆で親しむように、保護者と共同でL2としての英語教材を作られている。

例) フィンランドの小学校に通うアブダビの子供の場合  
イスラムの衣装を持ってきてL2の英語で着方を紹介する。

例) オーストラリアから数か月帰国した日本国籍の子供の場合  
「Finding Nimo」の絵本と映画を使って、あらすじを紹介する。オーストラリアの海の生き物を一緒に学ぶ。



AETの先生は、現代では様々な国から来ている。

自国の有名な物語のストーリーテリングをしてもらう。

自国の行事にちなんだストーリーを創作してもらう。

(例) アメリカ合では、クリスマスにはサンタではなくKwanzaというお祝いをするAETから、話をしてもらった。

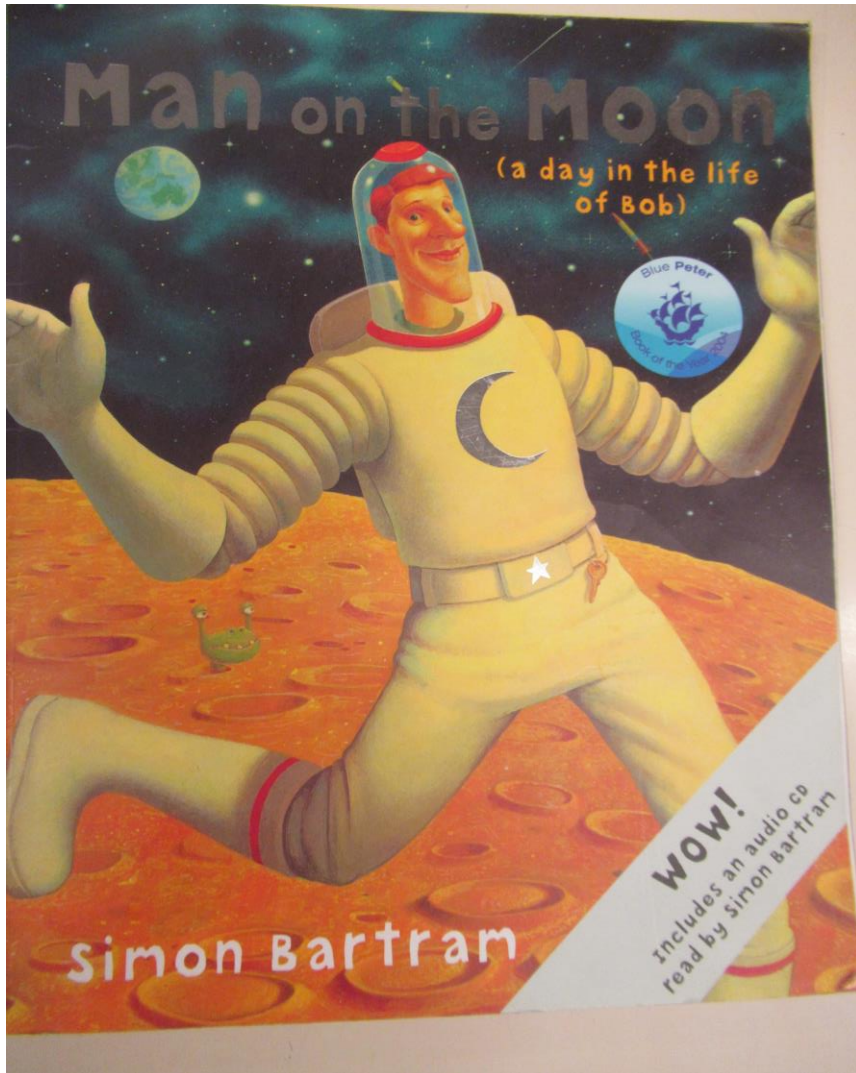
メキシコからのAETから、指輪をパンの中に間違えて入れてしまった、女の子の葛藤についての物語を簡単にして読んでもらった。

(高橋、2015)

出典: (JET Programme Participant Numbers, 2010)をもとに筆者が作成  
 註: 凡例のうち“Others”は、ALTを1名のみ来日させた国を示す

図3.3 JETプログラムに参加しているALTの国籍および人数の割合  
 (2009年7月1日時点)

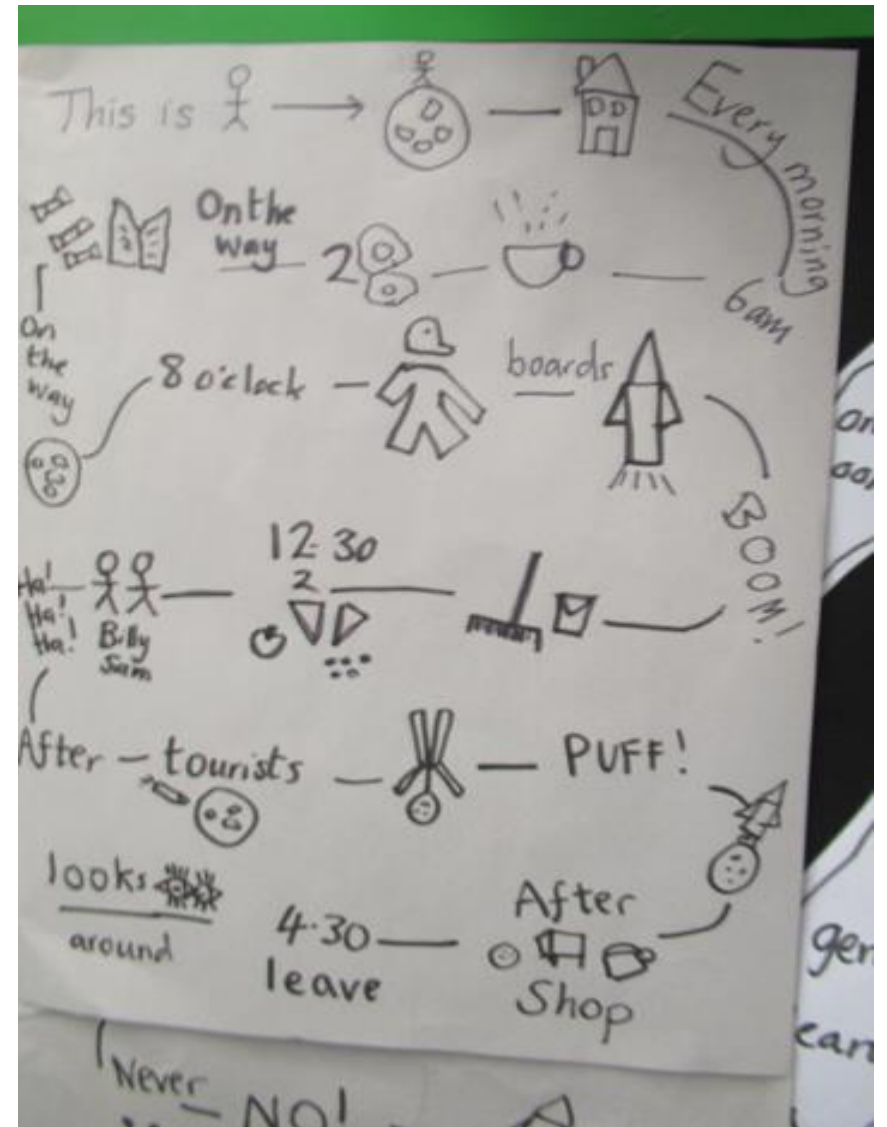
イギリスの小学校（Year 2） ストーリー中心の国語（英語がL1）  
“Man on the Moon”から



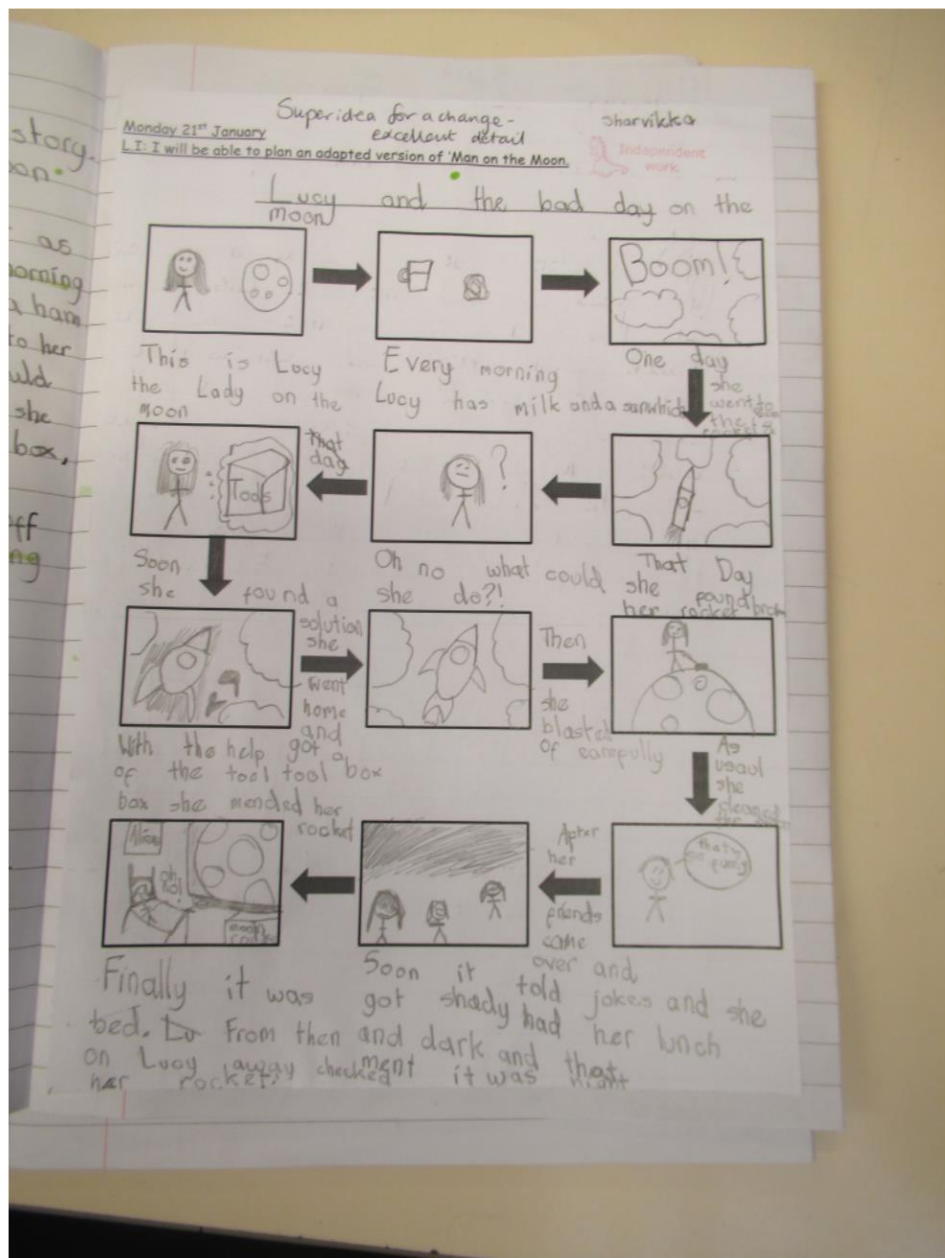
読み聞かせ

先生と子供で  
ストーリーライン  
を作る

掲示 共有



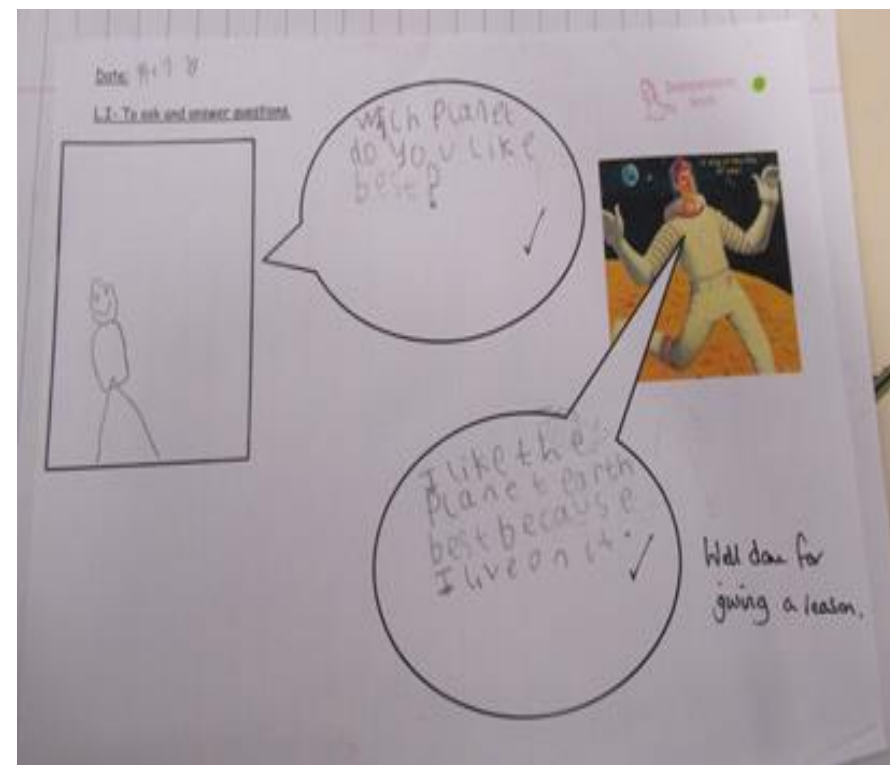




## Graded Reading

週1回読み物の時間がある。

生徒個人でこの本を詳しく読む



ふきだし

ストーリーを創作する。  
 キャラクターとセリフを考える。

	Moon	Rocket	House	Moon
		as fast as a car	fall	rocky
	Earth	gigantic	thin	as round as a
		dark shady blue	upon a hill	the window
			vibrant red	of a rocket
			quite normal, at	ship ✓
		clean, tidy	ordinary	spherecyl ✓
		shiny	has a bumpy roof	silent
		colourful	has a pattern	spinning
		bright-coloured	of vibrant red and dark brown ✓	full of craters
	Saturn	shimmery	huge	hard
		Jupiter steady and	made of	opaque ✓
		pluto still ✓	bricks ✓	as round ✓
		Mars has a sharp point	safe, peaceful	as a spiral ✓
		beginning	very unmy	
		beginning	beginning	

23.1.19.

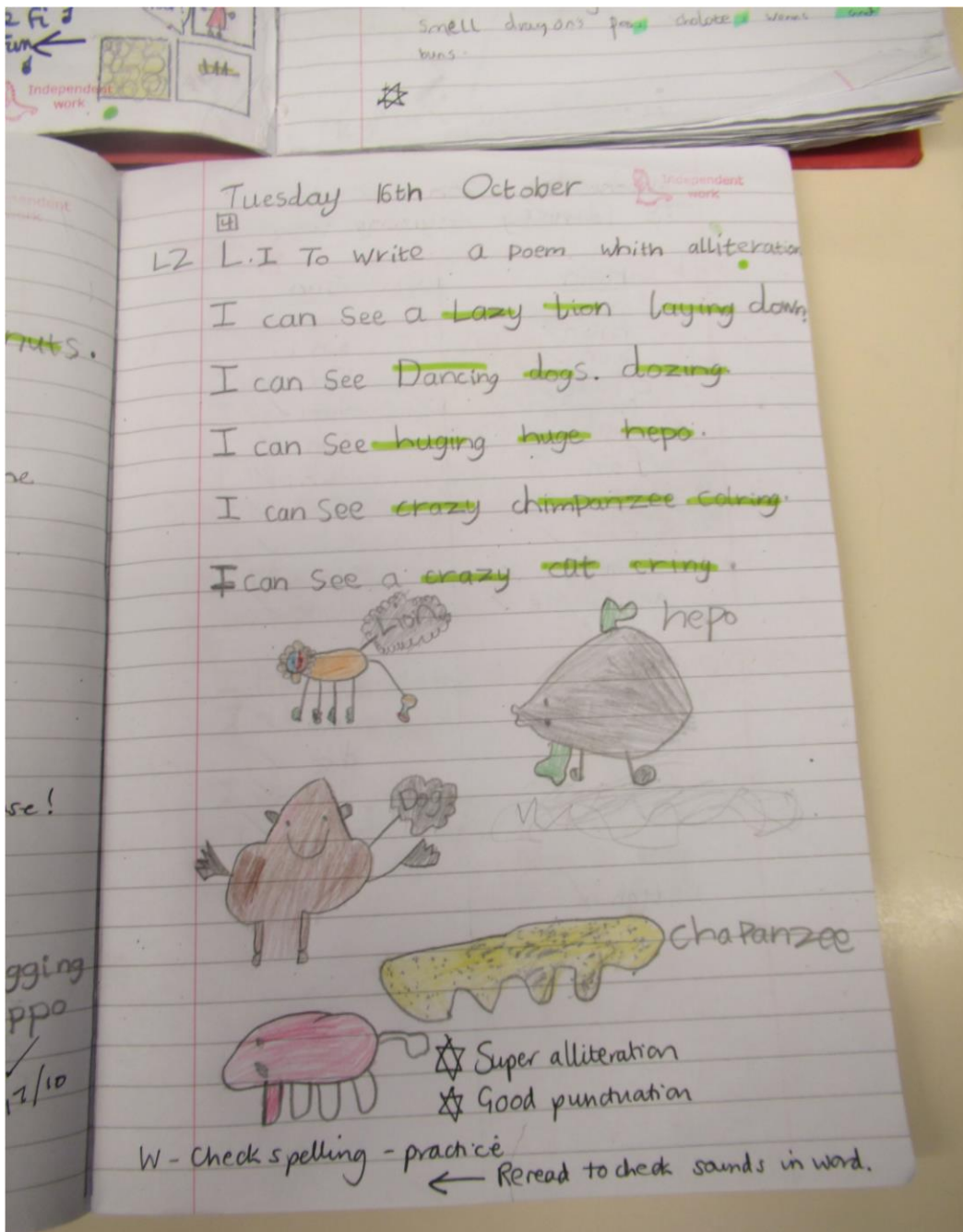
### 惑星 語彙 表現

(理科ではなく、登場人物として)

形容詞 (hard hot cold tiny)

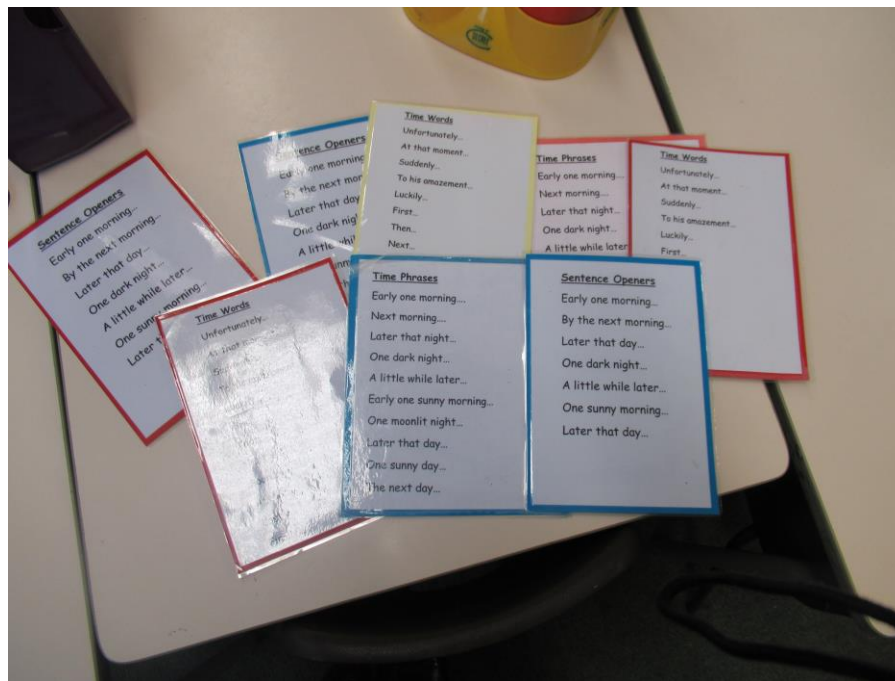
動詞 (bring~ is made from~)

など、物語に出てくる表現を学ぶ



I can see ~,~, を使って、言葉をつなぐ。

形容詞や、接続詞 And Then  
 語彙・文法に、並行してフォーカス  
 上手く使えていると、先生が緑色で下線



机の上には  
 形容詞  
 動詞  
 接続詞  
 お助けカード

壁には 5 W1H



ストーリーの創作が進んできた  
少しずつ書き進めて、先生がコメント


L.I. To write a character description

Name Sharvikka Date 10.1.19  
Shara 10.19

# Character Description

Name of Character Bob Independent work

Some super adjectives 😊



Think of some words to describe your character and write them here.

bulbous flexible suspicious party  
generous transparent exist hairdo tidy

Now write some sentences to describe your character and don't forget to use some of the words you have just written!

Bob is a very generous man and he's very <sup>smart</sup> because he has a party as his hairdo. Bob also has a bulbous nose and sparkling bright eyes as well as he thinks thinks aliens don't exist. Bob's very flexible and ~~is~~ suspicious about aliens. He has a hard transparent helmet and he's a tidy man because he picks up rubbish from everyone. Also Bob lives on the earth not space. He lives in a house upon the hills and he lives happily alone.

自分で  
リフレクション  
自己評価で自分の  
達成を見つめる

Tuesday 13th November

L.I To write a character description

Success Criteria	Me	Teacher
I have used adjectives to describe what Toby looks like.	☹️	★
I have used adjectives to describe what Toby's personality is.	☹️	✓
I have used capital letters and full stops.	☹️	★
I have written in full sentences.	☹️	✓
I have used conjunctions.	☹️	✓
I have checked and edited my work.	☹️	✓

Toby is a little boy he has brown hair and dark blue coat. He has a patchy jacket. He has black eye and round nose. He has light skin.

Toby is happy every day and a good person. He is exhausted. Toby is helpful. He is very funny and cheerful. Toby is a hard work boy. He is obey and tidy.

Ⓜ - Please practice spelling

helpful helpful helpful helpful

14.11





Punctuation 句読点や会話文は繰り返し動作と一緒に教える

名詞、動詞、形容詞 の種類分け掲示物でいつも意識をさせる

句読点なども、ストーリーや創作の中で身につけさせていく。

★日本の小学校  
1, 2年生の国語指導と似ていますね。

# この時期の並行 文字指導 (5歳—7歳) 3年間



ライミング frog? -og  
はどの単語に合うかな?  
音の分化と結合 (7歳)

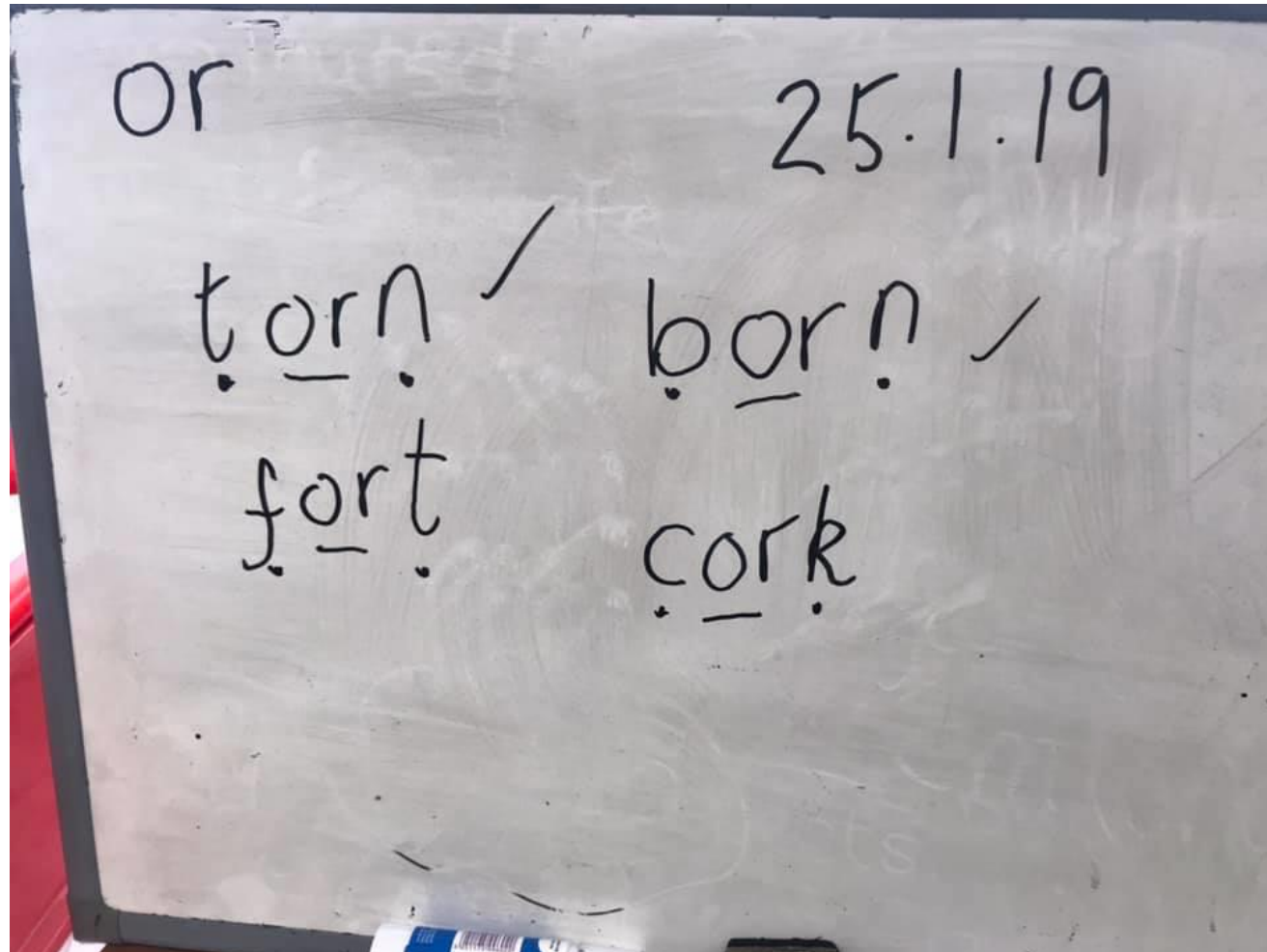
シンセティック・フォニックス (5歳)  
(Jolly Phonics) snakeのsから始める。

5つのレベルに分かれる際に、ATがついて  
少人数指導



• orの音と綴り (6歳)

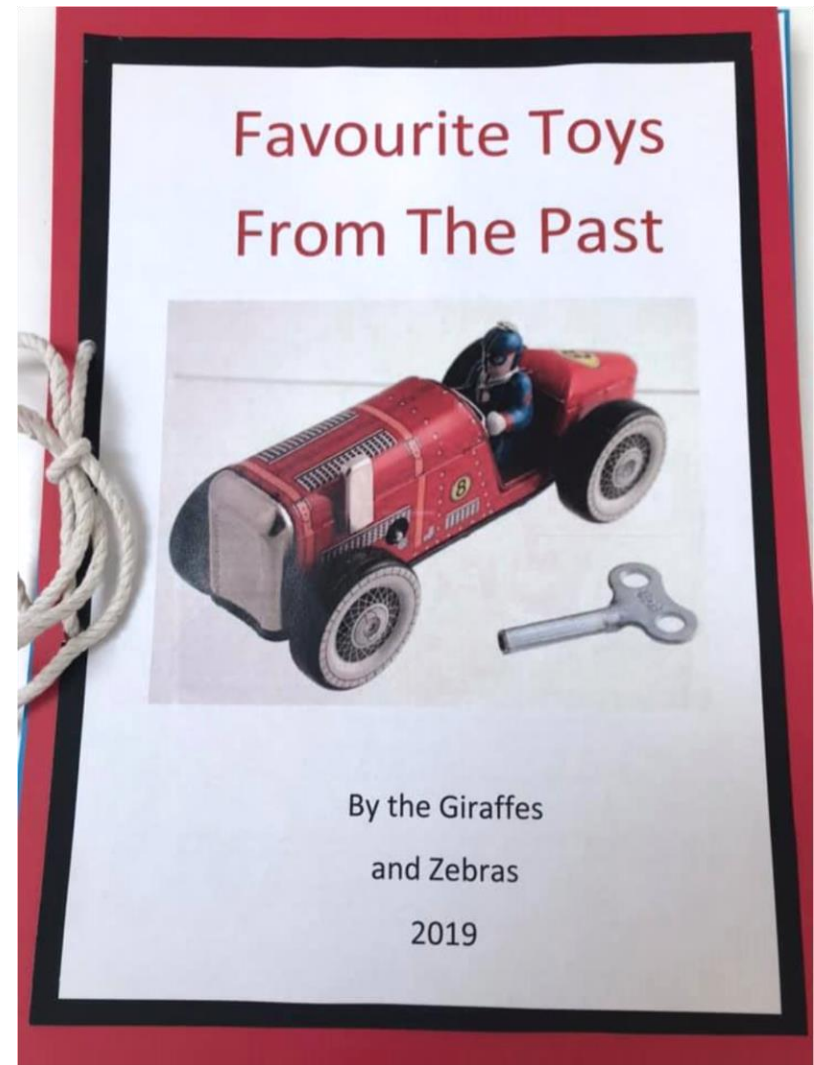
教えた後に、「聞いて書き取り」5分程度 4問





”Man on the Moon“

の他に関連絵本 宇宙に関する教室掲示物



過去形を学び、祖父母にインタビュー 「過去から来た大好きなおもちゃ」という絵と文集（6歳）

My grandmother had a pink Tamagocchi.~~~~  
(祖母はピンクのたまごっちを持っていました)




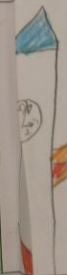



# ストーリーライン・プロットを学んで 創作へと誘う

To understand homophones.

Tuesday 13<sup>th</sup> November

Independent work Date 12.11.18

L.14 To sequence events of the Great Fire of London.

L.2 [4]	Monday evening	Monday morning	Monday evening	Tuesday	Wednesday	Thursday
① The fire started in a barbers shop and a spark fell out of the oven.	② The tiny spark spread around the house.	③ The houses were close to gether so the fire spread to house to house.	④ The fire spread so big and burnt so down.	⑤ After the fire went through the towers it went to other's houses.	⑥ As the wind died down and the fire got bigger and bigger.	⑦ The fire couldn't go on the sea because water stops the fire.
						

This is



# ストーリーライン (ジャックと豆の木)

**Jack and the Beanstalk**

Once upon a time ...

MUM <sup>rose</sup> → one day

Rose <sup>sell a min</sup> → ~~NO money~~ → market → Daisy the cow

angry → throw → beans → up

Fee Fi dō Fun! → he pushed the big door → saw a castle

Rose saw money and a stuff → Giant!


beanstalk and → Fee Fi dō Fun! → HELP!

me mother said help → down → The End

Independent work

---

Thursday 27th September  
To use commas in a list



In a dragon's cave I can see bones  
eggs, food and nest.

In a dragon's cave I can hear  
stomping, roaring, baby dragon and  
waterfall.

In a dragon's cave I can feel water,  
hot fire, ice and rocks.

In a dragon's cave I can see bones  
small dragons, porridge, chocolate, worms and  
buns.

イギリスの母語（英語）指導では、自国イギリスの文学を味わいながら、言語、文字、絵、図、工作、掲示と、統合プロジェクトで教えています。文法だけ、単語だけ、練習だけ、という指導では言葉は育たないのです。

日本の小学校の先生は、国語（日本語）では日本の豊かな物語で、イギリス以上の工夫をして指導しています。図工や生活科と合わせて、プロジェクトもしています。

それを、少しでも英語に生かすためには、言語習得理論をもとに、「シンプルにする」ことが必要ですが、豊かな内容までシンプルにしてしまい、カットし、一見効率が良さそうな「パターン練習」では、生徒の言葉は育っていかないのです。それは、中学校・高校の生徒も同じです。

しかしながら、イギリスにおいても、L2（仏語や独語）授業では、子供たちはまだL2が初めてなのに、母語（イギリスでは英語）での説明ばかりで、単語の練習になりがちです。フランス語の絵本を使うということを忘れているかのようです。文学には、初級の子供でも引き込んでいく力があります。中学校2年生ぐらいからは、クライマックスやエンディングの創作もできます。そのための指導の「プロセス」「スキュアフォルディング（梯子かけ）」を本講義からヒントを得ていただけたらと思います。

日本の文学や絵本、紙芝居を、英語に翻訳したもの（別紙）



# 中学校外国語科 2020年学習指導要領と繋がり

## 小中の繋がりまとめ 『英語教育と文理解』朝倉書店（柏木、2017）

小学校・中学校「外国語科」新旧学習指導要領対照表（文部科学省2017a; 2017b）

（下線は、中央教育審議会方針等を踏まえて筆者が補ったもの）。

① 5 領域→【聞くこと・読むこと・話すこと（やりとり）・話すこと（発表）書くこと】

②聞くこと→まとまりのある表現を聞かせるため、小学校では【スモール・トーク】を用い、中学校では【ティーチャー・トーク】といわれるインプットを用い、生徒がわかる英語を使って授業を行う。このことによって、生徒が【文構造】に気づく場面を創出する。

③話すこと（やりとり）→その場で適切に応答する【即興性】を重視する。【口頭で会話を続ける】活動を重視する。その際メモを見て話す、口頭で行うことが重要である。書いてから話すことに終始しない。

④話すこと（発表）→気持ちや身近なことを伝える（小学校）。関心のあることについて話す（中学校）【社会的な問題】について【考えたこと】や【感じたこと】を話す。

(小学校)

⑤書くこと→大文字・小文字を活字体で，【語順】を意識しながら【書き写す】。

【例文】を参考に，音声で慣れ親しんだ表現を，ワークシートの例から選んで

【書き写す】(小学校) \*実際の発話(production)は中学校からである。

(中学校)

【考えや気持ちを書く】(中学校) 電子メールのやりとり(パソコン活用)や，社会的な話題や情報を聞いて読み，【考えたこと，理由などを書く】(中学校)。

⑥語彙→単語数は増えたが，【コミュニケーション場面で使えるように【連語】で教えることが大切である。【頻度】の高い語彙から選ぶ語彙選択は重要である。

単語をすべて暗記させるのではなく，【受容語彙(聞いてわかる)と産出語彙(使える)】を考慮した指導が必要である。動詞と目的語のフレーズなどは小中の両方で重要な語彙である。

⑦文法→文法項目は増えたが，小学校で慣れ親しんだまとまりのある表現を受け継ぎ，文構造に気づかせながら使えるように導く。文法説明を長くしすぎず，意味のある文脈と結んだ文法指導を行う。文脈と切り離れた文法指導は実際の言語使用では使えない。

# 参考文献

高橋和子（2015）『日本の英語教育における文学教材の可能性』  
ひつじ書房

柏木賀津子（2017）「英語教育と文の理解」『英語教育と言語  
理解』 p.60-82 朝倉書店

Poran, A.(2008) The role of literature in instructed foreign learning  
and teaching: An evidence-based survey. Language Teaching  
41(4):465-496.